# 月刊 FALCOM MAGAZINE

Vol. 128



ロイドが新たな装いで登場！
『英雄伝説 暁の軌跡』

次々と待ち受ける障害
エステルたちは頂上を目指し進み続ける
英雄伝説 空の軌跡SC
～絆の在り処～

改めて「理」の真実に迫る!?
も～っと集まれ！
ファルコム学園

まさかの再会、
そして――
創の軌跡
THE MISERABLE
SINNERS

『軌跡』シリーズ
始まりの物語を振り返る
英雄伝説 空の軌跡

ファルコムニュース

ついに発売！　お得なDLC情報をチェック！

# 英雄伝説 黎の軌跡



FALCOM MAGAZINE

# CONTENTS



「可愛い後輩のためだもの――生徒会長として、このくらいは任せて頂戴。」

## レン・ブライト

（CV：悠木碧） *Renne Bright*

**年齢：17歳**

共和国の名門「アラミス高等学校」2年に在籍する留学生であらゆる出来事を把握し、どんな問題でも軽々とクリアしてしまう無敵の生徒会長。
リベール王国にある「ジェニス王立学園」との交換留学制度を利用して七耀暦1208年・春に共和国へとやってきた。
留学直後に1年生のアニエスと知り合い、学生寮の部屋が隣同士だったこともあって先輩・後輩として自然と交流する仲に。
現在は生徒会でその手腕を振るっているが、遥々留学生として共和国にやってきた理由はアラミスでの学業以外にあるらしい。









**ついに発売！
最後の追加キャラクターと
DLC情報を一挙公開!!**




**タイトル**：英雄伝説 黎の軌跡　**発売中**
**ジャンル**：ストーリーRPG
**対応機種**：PlayStation4　**プレイ人数**：1人
**小売価格**：[通常版] 7,800円（税抜）
[SPRIGGAN Edition] 9,800円（税抜）
[ダウンロード版] 7,500円（税抜）
**CERO レーティング**：C



カルバード共和国を舞台とした『軌跡』シリーズ最新作『黎の軌跡』。ついに発売を迎えた今回は、これまでのシリーズからの追加キャラクターと、今作の鍵を握りそうな新キャラクター。そして、発売日当日から使えるDLC情報も到着した。

# 銀（イン）

（CV：佐藤利奈） *Yin*

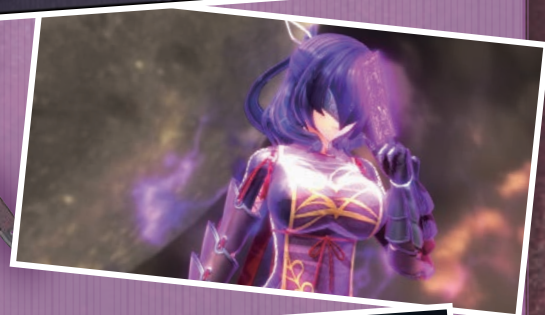
**年齢：21歳**



「かつての故郷と、今の故郷のためにも——
私なりの道を貫かせてもらいます。」

“東方人街の魔人”と謳われる伝説の凶手。常に仮面で顔を覆い、身の丈を超す巨大な斬魔刀を得物としている。
かつてはシンジケート《黒月》と契約を結び、東方人街を拠点に共和国内で活動を続けていたが数年前からクロスベル自治州に活動の場を移したことで《銀》に関する噂話はプツリと途絶えた状態となっていた。
長年カルバード共和国を離れていたが、マフィア組織《アルマータ》との抗争による東方人街への被害を最小限に食い止めるため、再び《黒月》と契約を結んで馳せ参じることに。









# 《破戒》エルロイ・ハーウッド

（CV：黒田崇矢） *Ellroy Harwood*

**年齢：47歳**



「皆まで言わせんなよ。
——その方が、〝面白そうだから〟に決まってるだろうが？」

《千の破戒者》の異名を持つ結社《身喰らう蛇》の使徒・第四柱で、煉獄の悪魔すら蝕み、腐食させるほどの“謎めいた”力を操る。
《黄金蝶》ルクレツィア同様、かつては暗殺組織《月光木馬團》に所属。
結社との抗争の後、軍門に下ったハーウッドは《盟主グランドマスター》から使徒としての役割を任されることになった。
古今東西のあらゆる悪事を研究＆実践してきた犯罪のスペシャリストであり、己の欲望のままに行動しているが今回の共和国内での動きには結社の“ある計画”が深く関わっているという。









「どうした、裏解決屋《スプリガン》──貴様の《悪夢》はそんなものか?」

# ジェラール・ダンテス

（CV：関智一）　Gerard Dantès

年齢：34歳

マフィア組織《アルマータ》のボスで、あらゆる者を従えるような尋常でないオーラと、どこまでも底知れない風格を備えている。
数年前、組織で不手際を演じた当時の首領・エンリケをジェラールが粛清、その地位を手に入れることで現在の体制を作り上げた。
人を人たらしめる概念──
"恐怖"によってすべてを御するという考えを持っており、それに惹かれた強者たちが彼の下に集まり、急速に勢力を拡大。
その不穏な気配を察知した遊撃士協会や警察、更には《黒月》といった裏社会の組織までもが《アルマータ》に対抗すべく、共和国内で各々動きを見せ始めている。





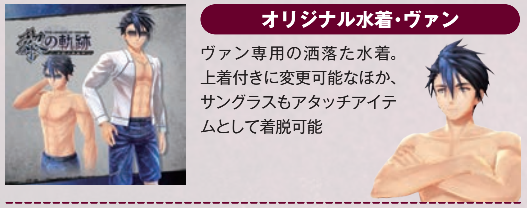




# 10月31日までDLC計30アイテムが無料！
# 魅力満載のラインナップをチェック！

ファルコム創立40周年を記念して、『黎の軌跡』発売日の9月30日から10月31日まで、DLC計30アイテムが無料配信！
便利な消費アイテムから、水着衣装まで、魅力あふれるラインナップになっていて、中には期間終了後には有料販売に変わるものもあるので今すぐゲットしよう。





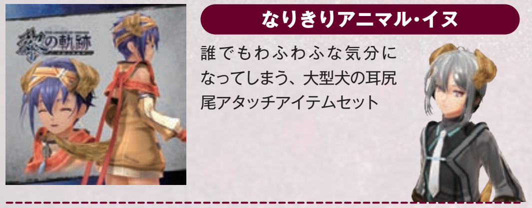
### オリジナル水着・ヴァン

ヴァン専用の洒落た水着。上着付きに変更可能なほか、サングラスもアタッチアイテムとして着脱可能



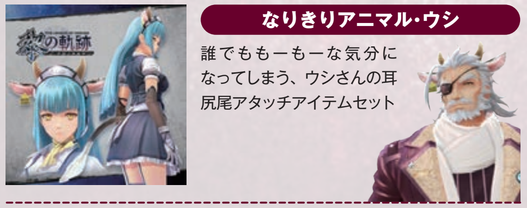
### 4spgUNITED・ヴァン、アニエス、フェリ、アーロン

アークライド解決事務所が使う専用ワード4spg(forSPRIGGAN)をコンセプトにした、ヴァン、アニエス、フェリ、アーロンの限定カラー衣装。専用のヘアカラーがセットになっていて、アタッチアイテムとして付け替えることが可能です。



### なりきりアニマル・イヌ

誰でもわふわふな気分になってしまう、大型犬の耳尻尾アタッチアイテムセット



### なりきりアニマル・ウシ

誰でももーもーな気分になってしまう、ウシさんの耳尻尾アタッチアイテムセット



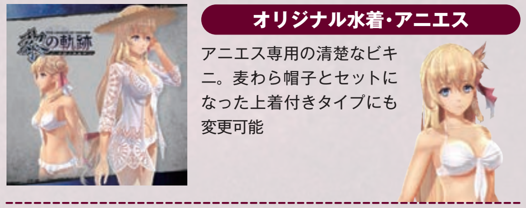
### Xiphaメタルカバーセット・イメージボード8種

『英雄伝説黎の軌跡』イメージイラストをあしらった、戦術オーブメント《Xipha》用のメタル調カバー。全8種



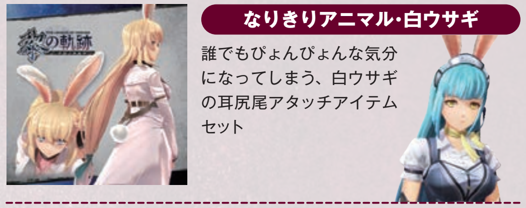
### ホロウコアVoiceレン・ブライト(CV悠木碧)

戦術オーブメント《Xipha》にセットするホロウコアのボイスをレン・ブライトに変更可能なDLC。いつでもどこでも、無敵の生徒会長があなたをサポート



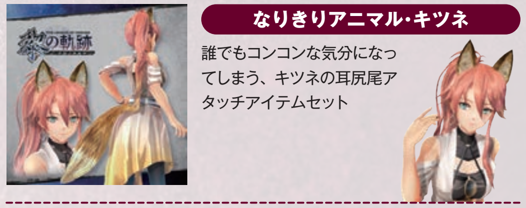
### オリジナル水着・アニエス

アニエス専用の清楚なビキニ。麦わら帽子とセットになった上着付きタイプにも変更可能



### なりきりアニマル・白ウサギ

誰でもぴょんぴょんな気分になってしまう、白ウサギの耳尻尾アタッチアイテムセット



### なりきりアニマル・キツネ

誰でもコンコンな気分になってしまう、キツネの耳尻尾アタッチアイテムセット



### サンバイザーセット4種

カルバード共和国の4大導力車メーカー、インゲルト、エトワス、レノ、レッドスターのロゴをあしらったオリジナルサンバイザー



### Xiphaカバー・40thAnniversary(2種)

ファルコム40周年記念ロゴをあしらったBOX限定カバー。シンプルな「ソリッド」と豪華にあつらえた「ゴージャス」の全2種



### 戦闘ブーストパックA

ゲームプレイに役立つ便利なクオーツ、アクセサリ5点を収録。
**[クオーツ]** 必殺2
**[アクセサリ]** 黄昌の輪、チタンリスト、フェアリーピアス、ミリタリーウォッチ

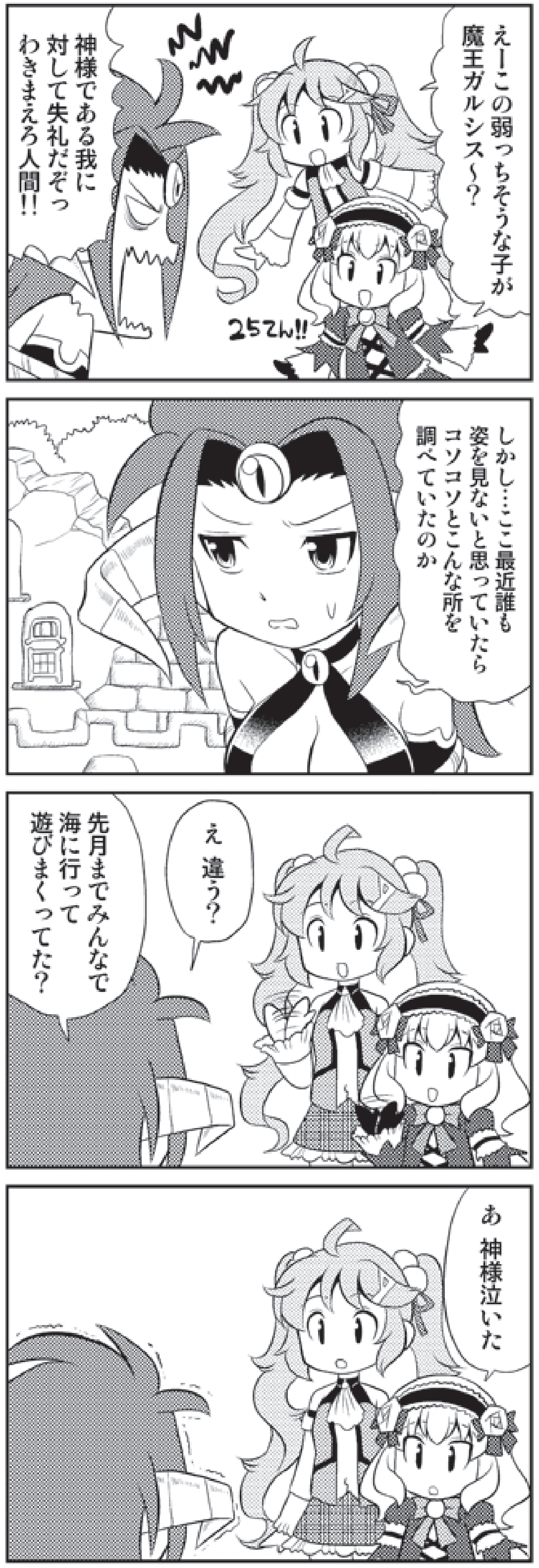
★コミック『創の軌跡』とも絶賛リンク中!★




## スペシャルゲスト




## 仲間はずれの竜



## バカ保護者




## コトワリを知るもの




## 世界最強の存在




## 魔王の記憶力




『イースVS空の軌跡』2010年7月発売




穏やかで騒がしい生活が戻ってきたファルコム学園。
徐々に英雄、戦士、さらには曲者までが還ってくるなか、
新たに「イースⅨ」のキャラクターも参戦！
まだまだ止まらない異能・新久保だいすけの筆が冴え渡る！



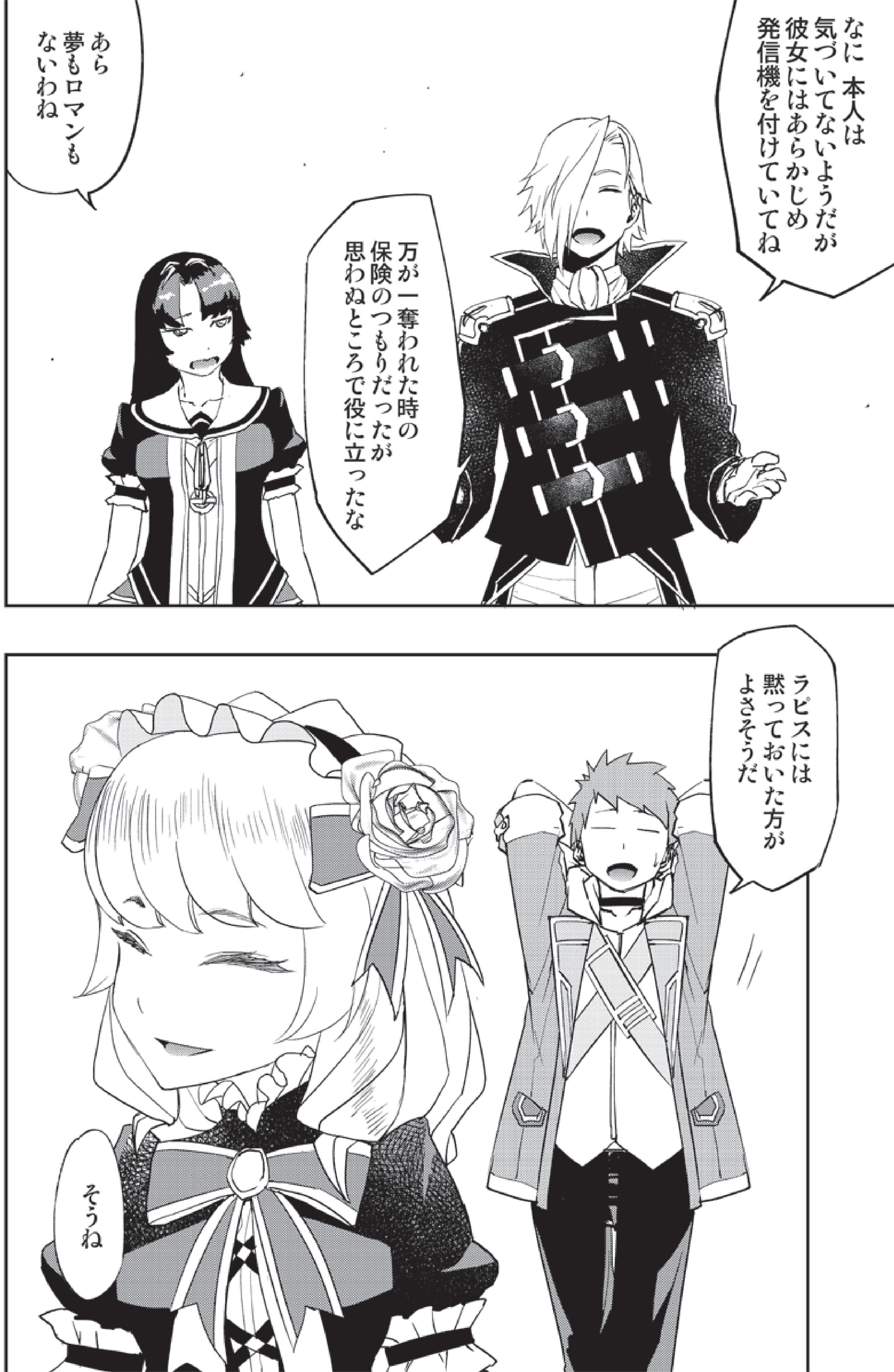

# も～っと集まれ！ ファルコム学園②

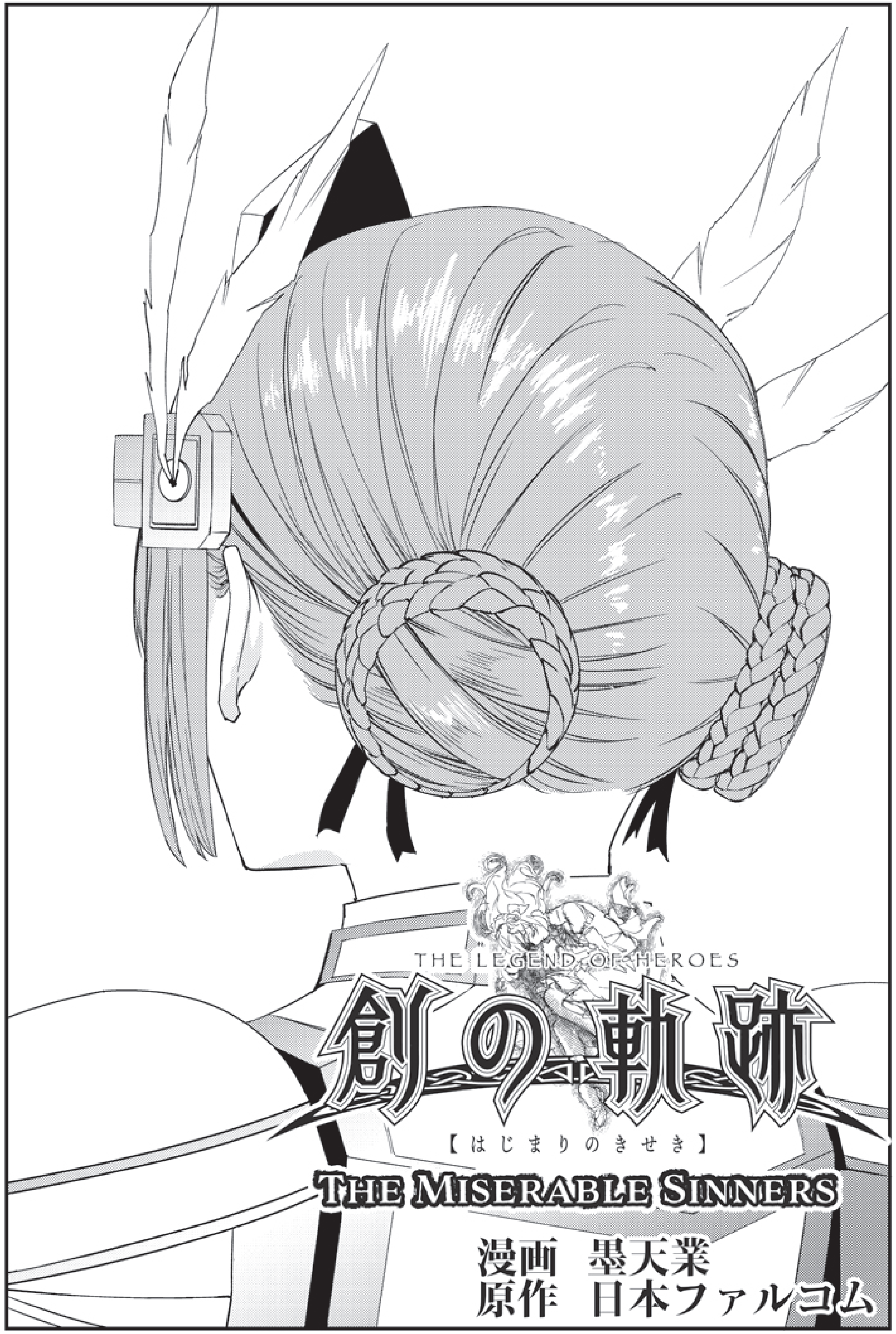
新久保だいすけ

定価：本体 900 円＋税
ISBN 978-4-8021-3213-8



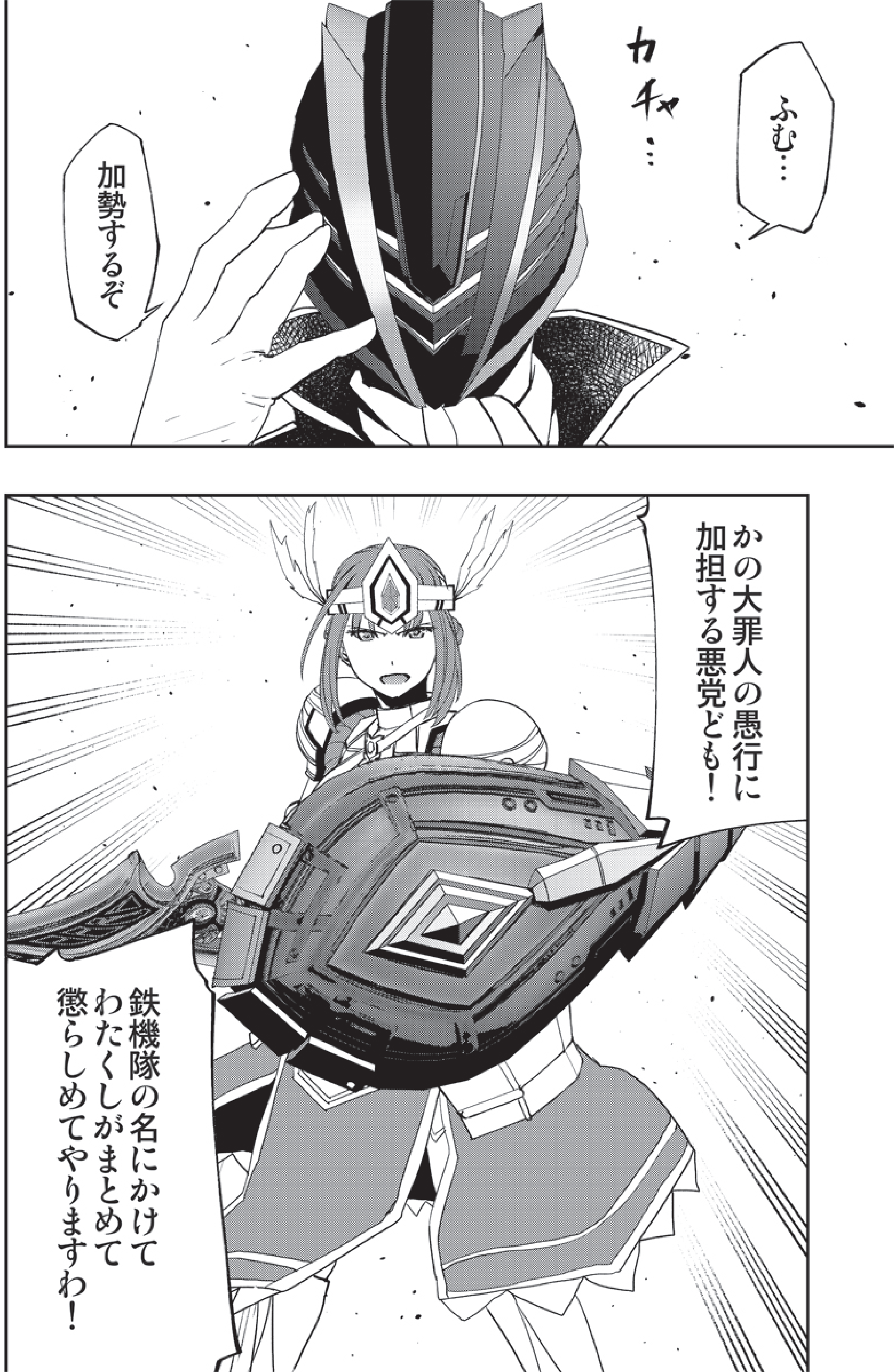
発行：フィールドワイ フィールドワイ公式HPはこちら→ www.field-y.co.jp
発売：メディアパル ファルコムブックス公式HPはこちら→ www.field-y.co.jp/falcombooks


なに 本人は気づいていないようだが彼女にはあらかじめ発信機を付けていてね
万が一奪われた時の保険のつもりだったが思わぬところで役に立ったな
あら夢もロマンもないわね
ラピスには黙っておいた方がよさそうだ
そうね


THE LEGEND OF HEROES
創の軌跡
【はじまりのきせき】
THE MISERABLE SINNERS
漫画 墨天業
原作 日本ファルコム


この道を進めば
拘置所に着くわ
正確には
警察学校だけどね
拘置所は
それに併設している
ようなものよ
へぇ〜
ここにも
よく来ていたのか?
以前
散歩とかで
たまにね
レンちゃん
ワイルドな散歩コース

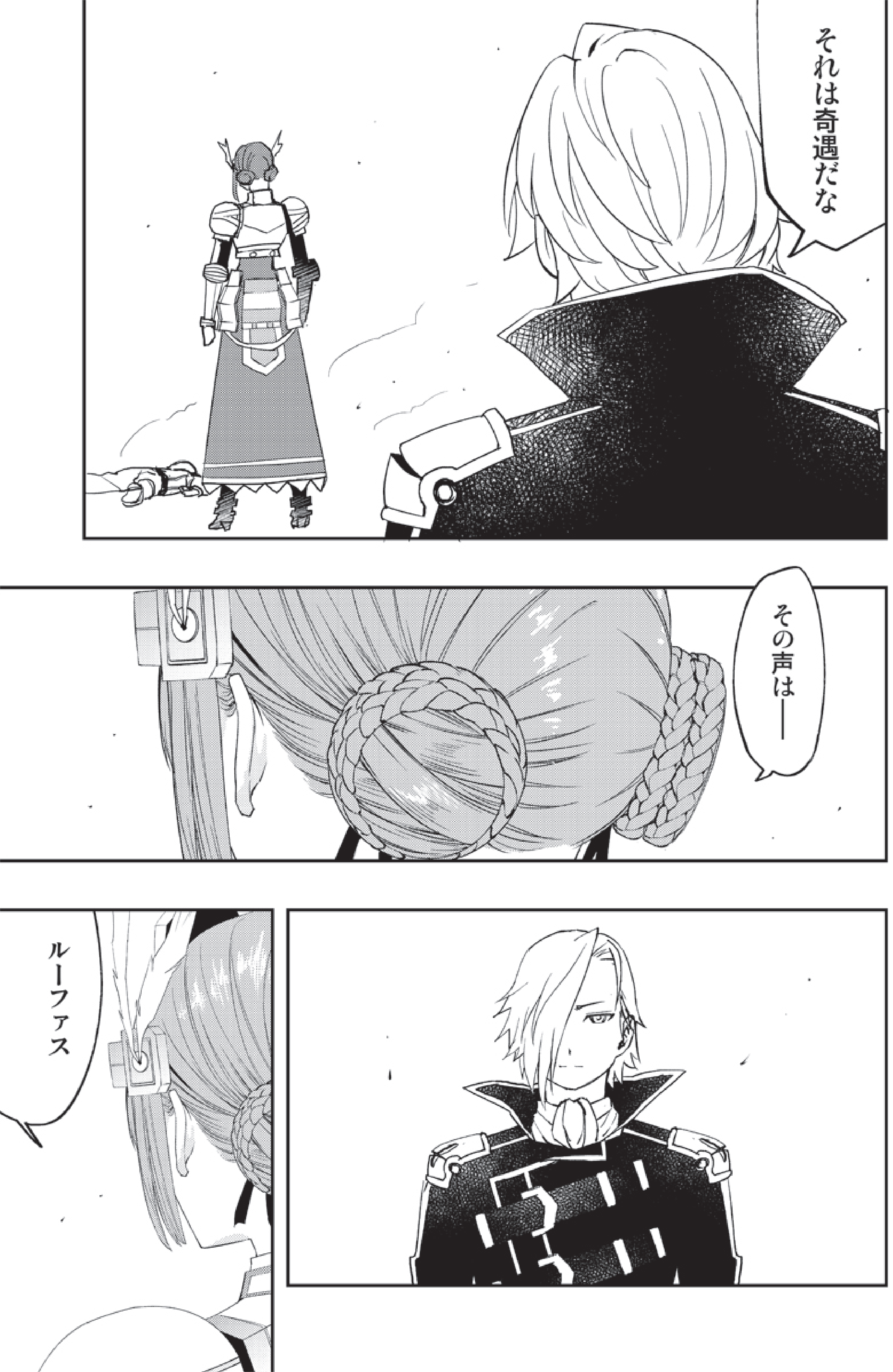

銃声と剣戟の音…
ここからそう
遠くないようだ
慎重に近づいてみよう
はあっ!!

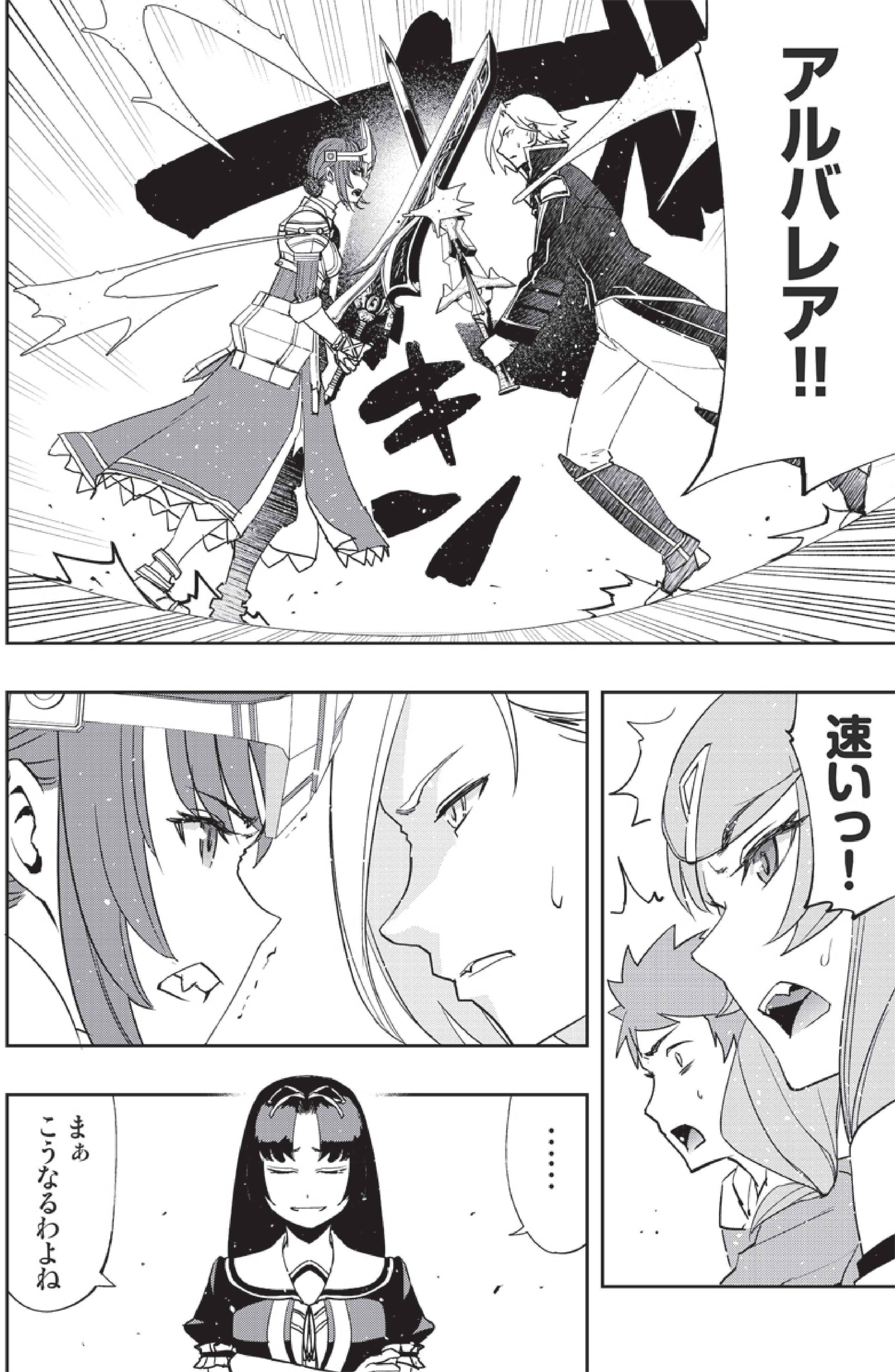

ふむ…
カチャ…
加勢するぞ
かの大罪人の愚行に加担する悪党ども!
鉄機隊の名にかけてわたくしがまとめて懲らしめてやりますわ!


強がっても無駄だ! いくら実力者といえど貴様は所詮一人 我らの敵ではない!
数の優位しか誇れぬとは随分と堕ちたものだ
っ…!
なんだと!? 誰だ!!
ならばそのちっぽけなプライドも砕いてあげよう——
なっ! いつの間に!!


ごきげんよう
神速のお姉さん
せ 殲滅天使!?
一体どういう
ことですの?
話はあと
まずは目の前の敵に
集中しましょう?
ええい
わかりましたわ!

なんとか
片付いたわね…

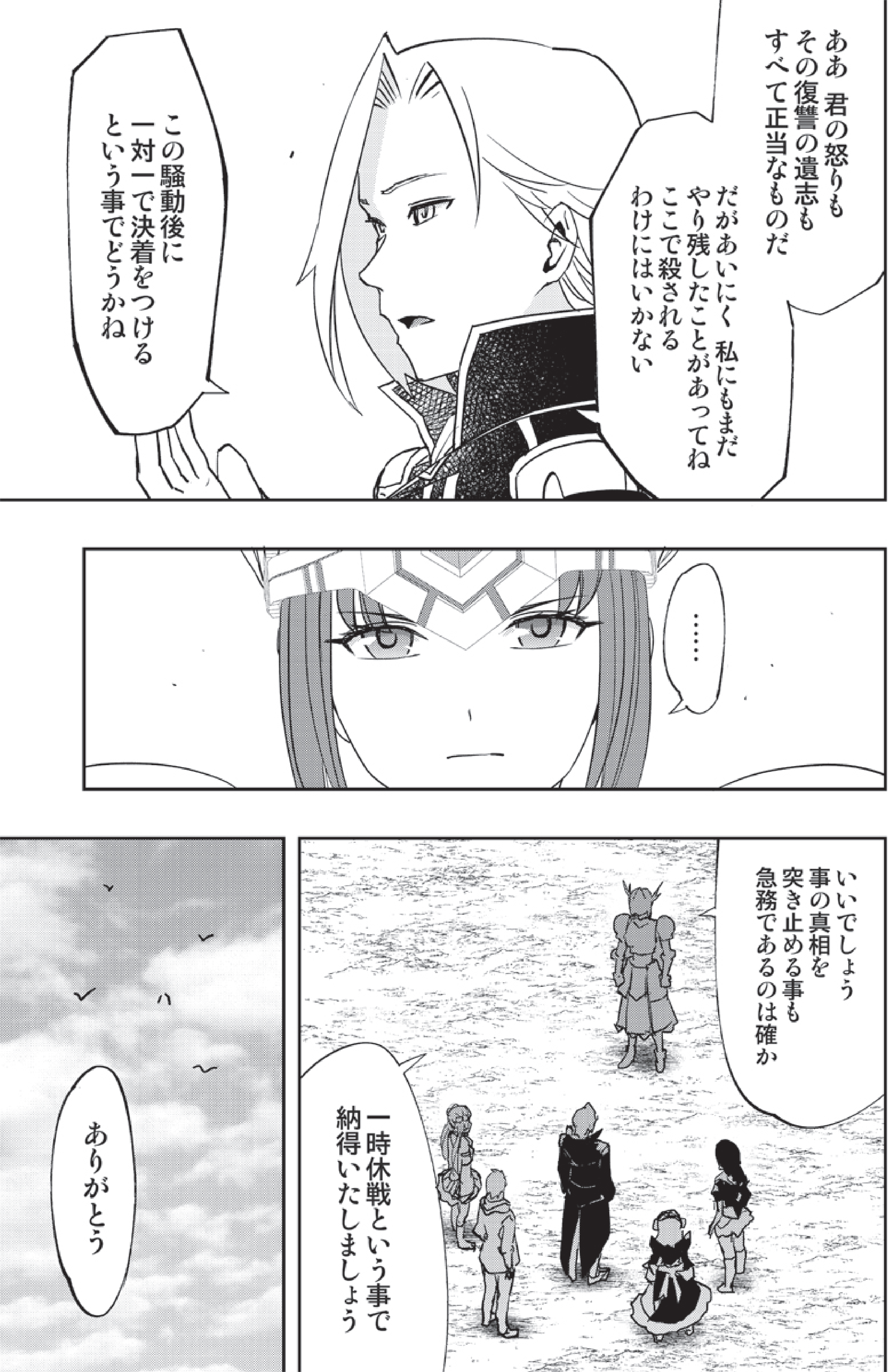

助太刀 感謝しますわ
殲滅天使
それと…
見知らぬ方々も
おもしろい格好…
彼女の知り合いか？
レン達はただ
通りすがっただけど
神速さんは？
鉄機隊のあの二人は
一緒じゃないの？
…今回の事件
少々思うところが
ありまして
彼女達と手分けして
敵拠点の偵察を
している最中です
そのひとつである
警察学校へ向かう
途中でこの連中と
遭遇してしまって…
ほう？

それは奇遇だな
その声は――
ルーファス


アルバレア!!
キン
速いっ!
……
まぁ
こうなるわよね

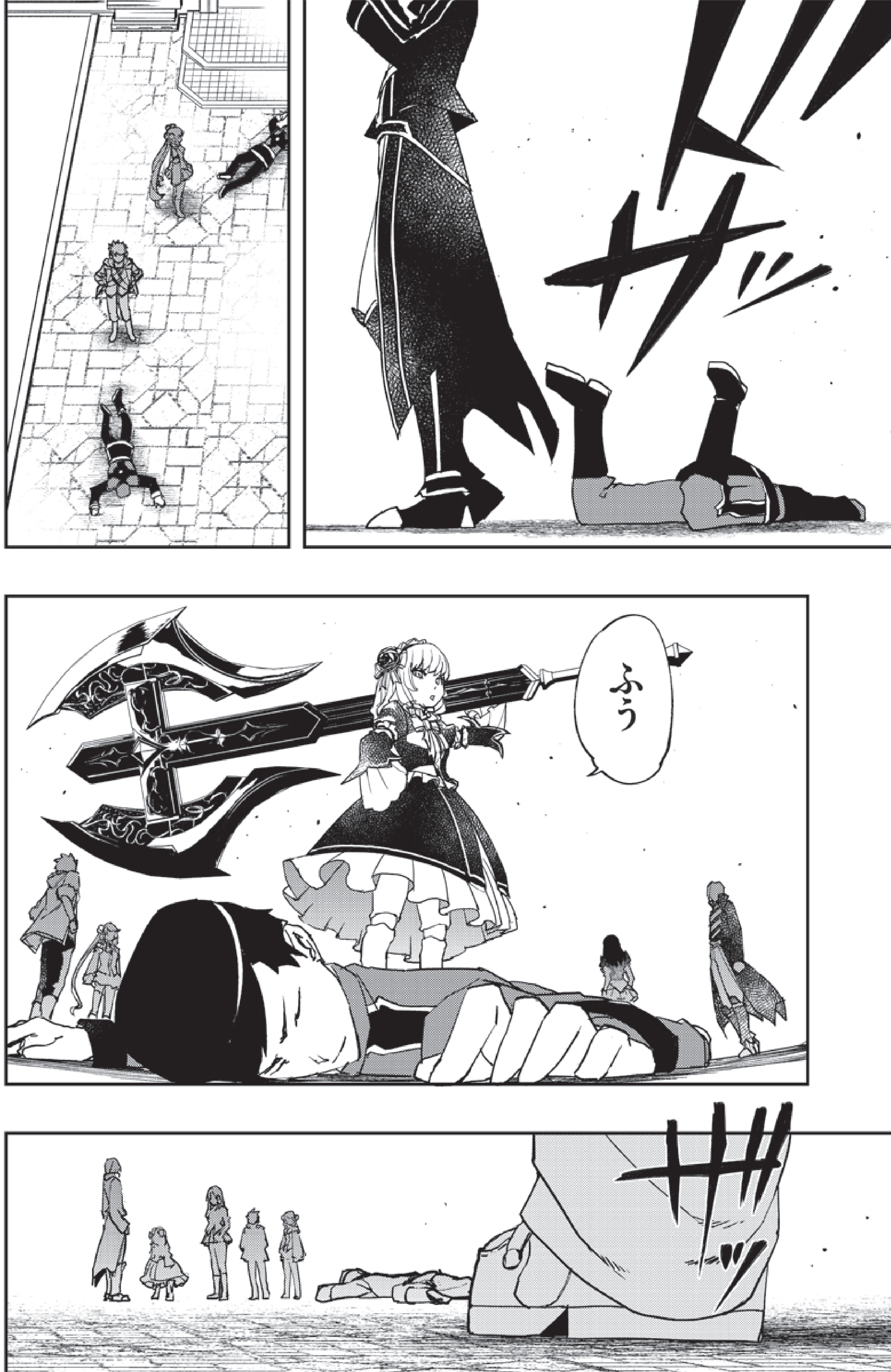

諸悪の根源
ルーファス・アルバレア!
今度こそ貴様に
天誅を下しますわ!
鋼のお姉さんの件については
レンも思うところがあるから
手伝うつもりはないわ
むしろ神速さんの方を
手伝いたいくらいよ
でも…
状況はそうも
言ってられないの…

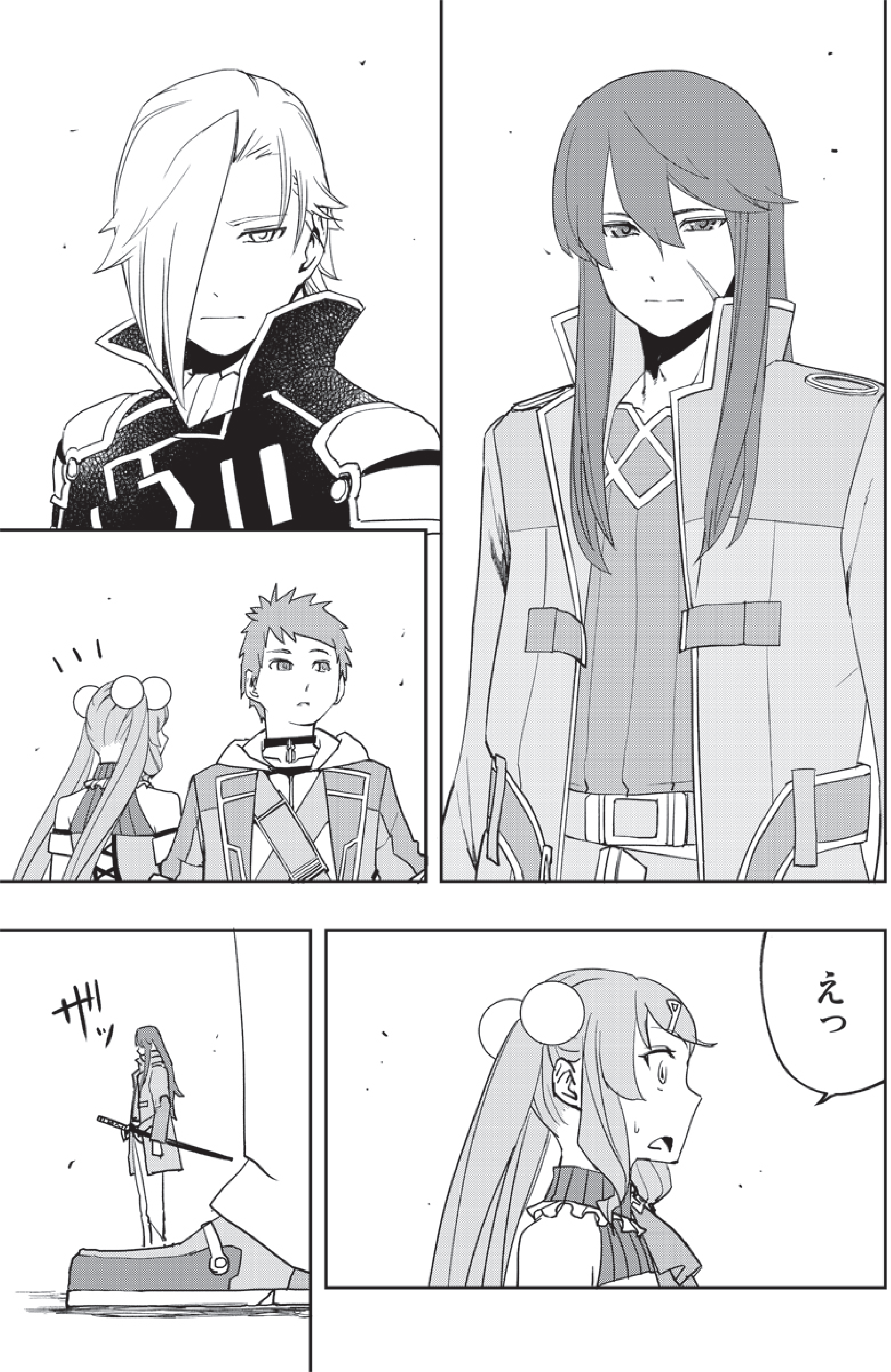

そう…だったんですの…
いまいち事の全貌は掴めていませんがおおよその経緯はわかりましたわ
全貌なんてそれこそ敵の親玉しかわからないでしょう
それくらい厄介な相手よ今回は
偽物のルーファス・アルバレア…
神速さんはどういう経緯でクロスベルに?
……クロスベル没落の知らせを受け…
今度こそ憎きルーファス・アルバレアと決着をつけるため――
私はアイネス エンネアとともになんとかクロスベルに潜り込みましたわ
流石にそのまま正面からぶつかるつもりはありませんでしたが
市内で敵に動向がバレ襲撃を受けたんです
あの黒い連中はわたくし達鉄機隊の相手ではありませんでしたが…
それを率いたガルシアという男とツァオという食わせ者がとにかく厄介でしたわ
調印式の日にも出てきた元西風のキリングペア――ガルシア・ロッシと…
黒月の白蘭竜――ツァオ・リーか
うわぁ～聞くからにヤバそうな連中…
極めつけに何故かあの《風の剣聖》まで敵に与し 私達を襲ってきたのです
《風の剣聖》ってあの遊撃士のか?

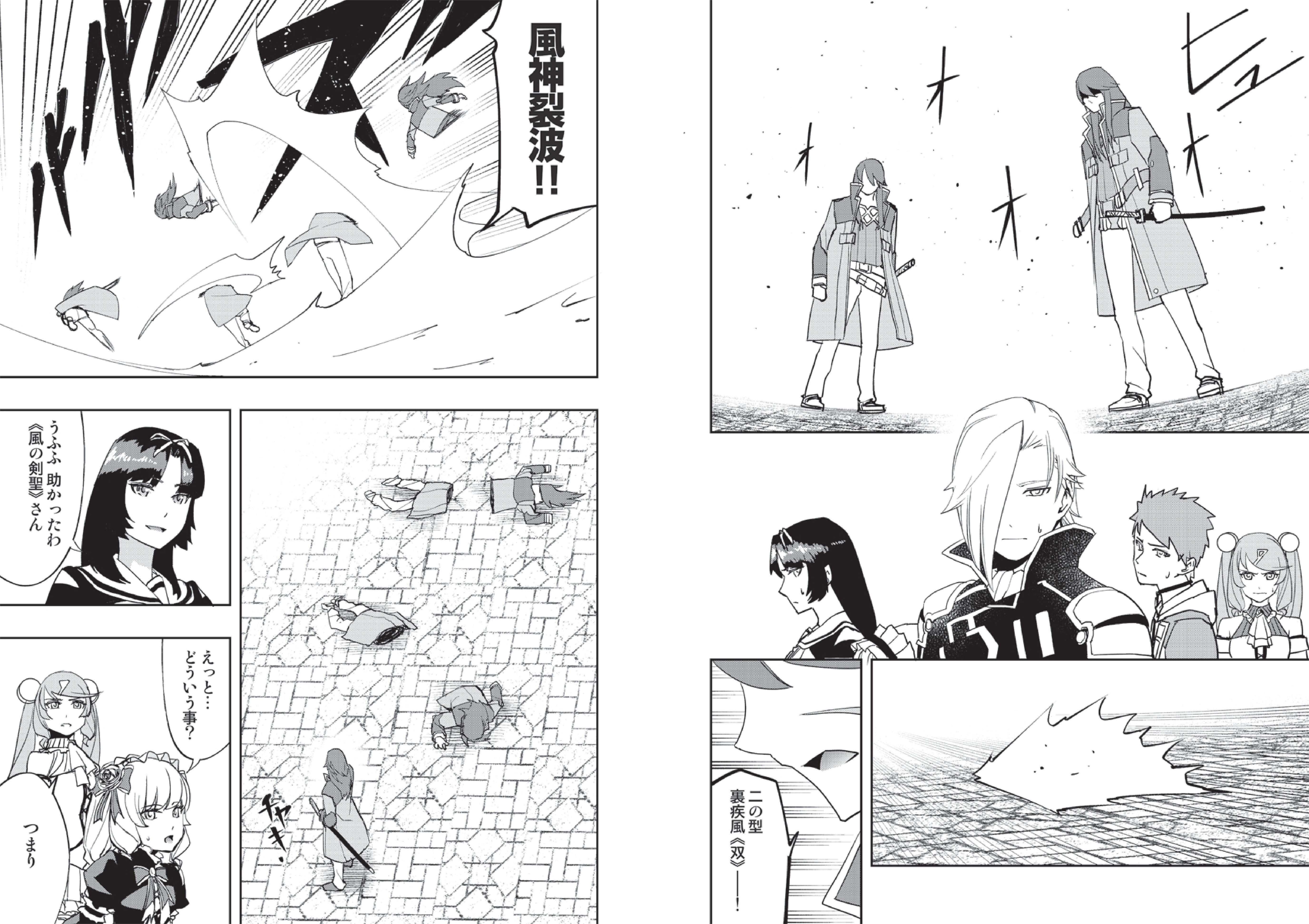

——アリオス・マクレイン
悔しいですが剣士として わたくしのはるか 上の領域にいる存在ですわ
彼まで敵側に回ると さすがに厄介ですが 今までの事から考えると…
——偽物という 可能性はあるかもね
あの人は変に 拗らせたところが あるみたいだから…
そんな事情で 市内から撤退した わたくしたち三人は——
手分けして 敵の拠点を偵察して 少しずつ潰す事に しましたの
それに警察学校も 含まれていたわけか
実はなーちゃん達も そこに向かう途中 なんだよね～
…確かにそれは目的が同じと 言えなくもありませんわね…
ですが やはりマスターの 敵であるこの男と 協力するなど——!


ああ 君の怒りも その復讐の遺志も すべて正当なものだ
だがあいにく 私にもまだ やり残したことがあってね ここで殺される わけにはいかない
この騒動後に 一対一で決着をつける という事でどうかね
……
いいでしょう 事の真相を 突き止める事も 急務であるのは確か
一時休戦という事で 納得いたしましょう
ありがとう


CPS


ドサッ
ふう
ザッ


ザッ
えっ


ヒュオオオオ
二の型
裏疾風《双》──!
風神裂波!!
うふふ 助かったわ
《風の剣聖》さん
えっと…
どういう事?
つまり
チャキ


英雄伝説
閃の軌跡06
原作／日本ファルコム
脚本／恵村まお　漫画／さがら梨々
A5判　160P　定価：本体991円＋税
ISBN 978-4-8021-3123-0
©Nihon Falcom Corporation. All rights reserved.
©SAGARA RIRI 2018
好評発売中!!
エレボニア帝国に吹き荒れる陰謀の嵐！
時代が選ぶのは果たして誰か!?
そして友という絆に背を向け、
両雄相まみえる！
激動のクライマックス！
発行：フィールドワイ　フィールドワイ公式HPはこちら➔www.field-y.co.jp
発売：メディアパル　ファルコムブックス公式HPはこちら➔www.field-y.co.jp/falcombooks

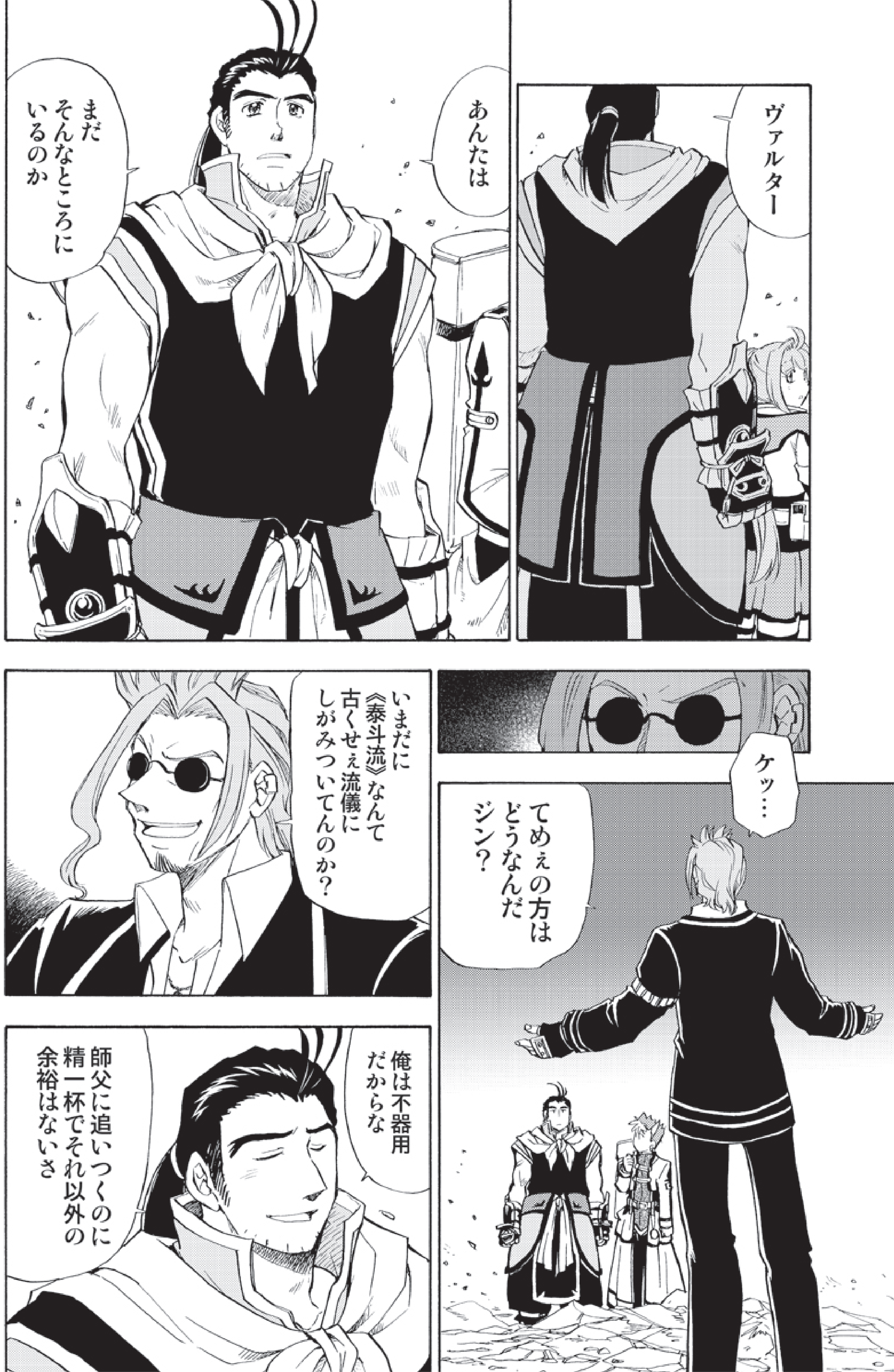

この人が本物の《風の剣聖》アリオス・マクレインってこと
多分ね
Fortsetzung folgt


空の軌跡SC
～絆の在り処～
漫画 啄木鳥しんき
原作 日本ファルコム
とにかく今は
塔の頂上へ！
端末を使って上に通じるゲートを開けて
教授のもとに辿り着かないと！


わ！
なんや!?
クク…
待ちくたびれたぜ


サングラス男！
《痩せ狼》ヴァルター
あなたが第２の障害か！
…っていうか何の上に乗っかっちゃってんのよ！
あたしたちはその端末を動かして頂上に行かなきゃなんないんだから！


教授に命令されて端末を守ってるんだろうけど
邪魔するならあたしたち
そんな事はどうでもいい
ずっと退屈だったからな
ここらへんで
死合いといこうじゃねぇか
し…
しあい？


ヴァルター
あんたは
まだそんなところにいるのか
ケッ…
いまだに《泰斗流》なんて古くせぇ流儀にしがみついてんのか？
てめぇの方はどうなんだジン？
俺は不器用だからな
師父に追いつくのに精一杯でそれ以外の余裕はないさ

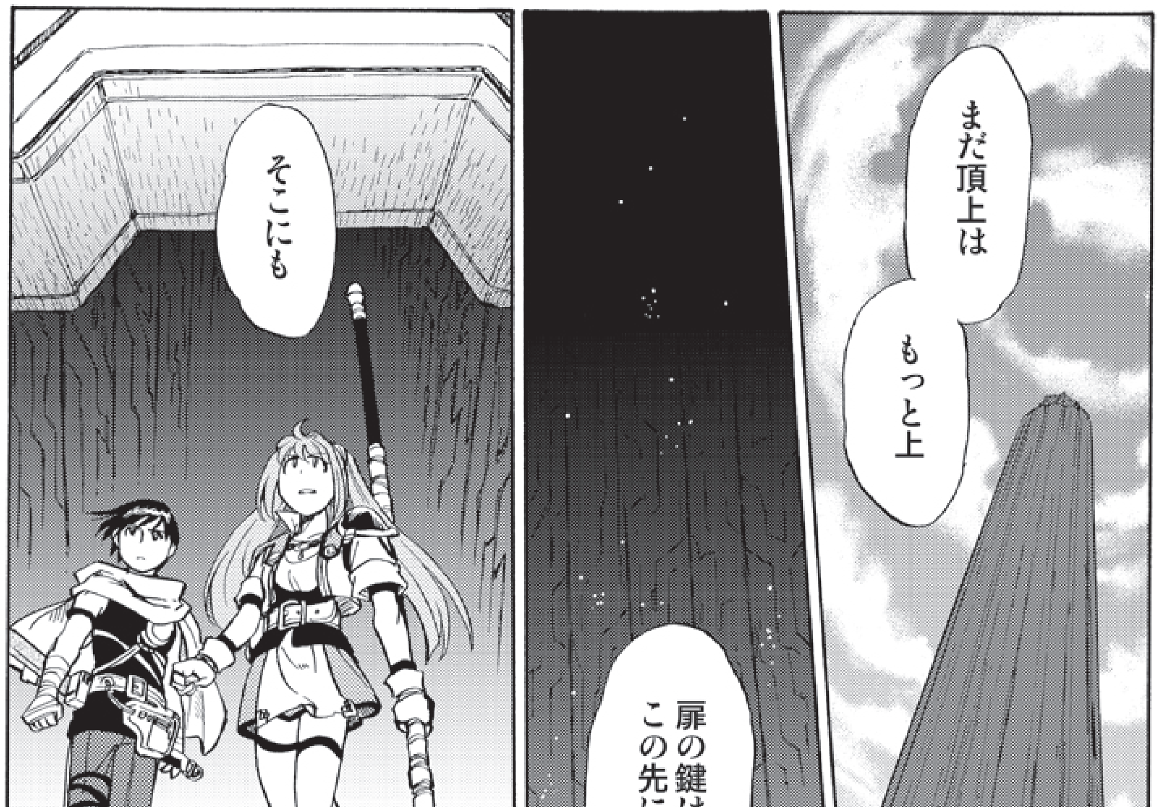
つまんねぇ奴だぜ！
泰斗流なんぞにいつまでも固執してるからてめぇは格下のまんまなんだよ！
ヴァルター
今のあんたの拳じゃ
俺は倒せんよ
…おもしれぇ！
構えろ！
ジン！！



え？あれ？
ジンさん…だけ？
そういうわけらしいから
ここは俺に任せて
みんなは先を目指してくれ
ジンさん
あいつは自分の目的のために結社の計画に乗っかってるだけなんだ
奴への答えは弟弟子の俺が指し示してみせる
…不甲斐ない兄弟子が迷惑をかけてすまんかったな




わかったわ！
お願いしますジンさん！
おう
そっちも気をつけてな
見せてもらうぜ！
この6年間でてめぇが練った功夫をな！
望むところだ
師父から継いだ《活人の拳》
あんたの邪拳を打ち砕くために使わせてもらう！

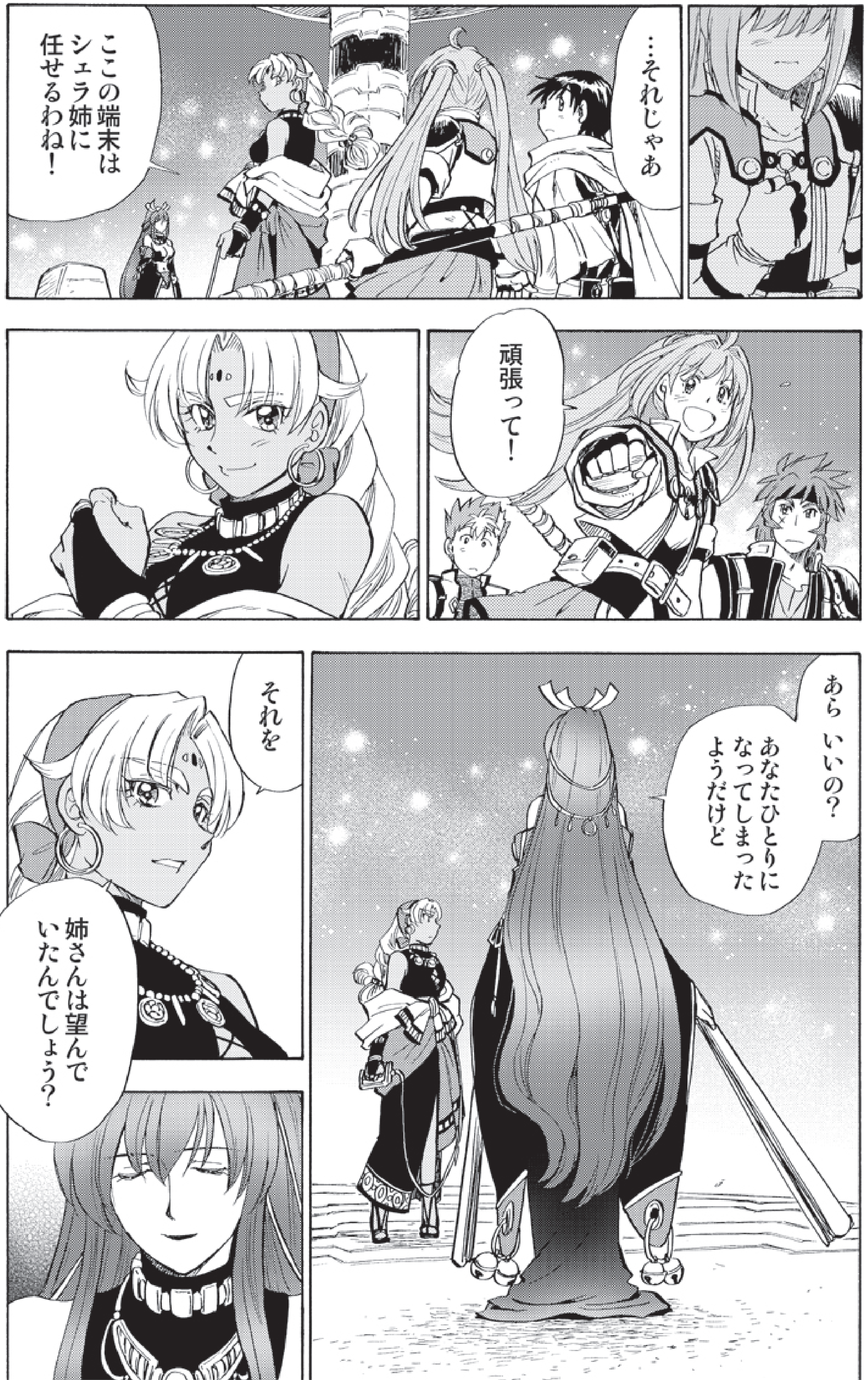

まだ頂上は
もっと上
扉の鍵は
この先にある
そこにも
きっと


なんだ
こりゃ
鈴の音…？
《幻惑の鈴》
それって…
ルシオラ…
姉さん


いらっしゃい
あなたが来ることはわかっていたわ…
…あなたたちは頂上に行くためにこの端末を動かしたいのでしょう?
でもごめんなさいね
教授にここを守るように言われているの


ルシオラ
そもそもどうして貴女が教授に協力しているんだ?
彼とそれほど親しいわけではないだろう!?
そうね…
教授に対する義理はないのだけれど…
…リベールは私にとっても巡業で訪れた懐かしい地だから
つい興が乗ってしまったというところかしら
な…
なに言ってんのよルシオラお姉ちゃん…
懐かしい場所だから住んでる人たちにひどいことをするの?
そこにシェラ姉がいるって知ってて…!
なのに…シェラ姉の気持ちも知らないで…!!


…
シェラ姉
昔から そうだったのよね
姉さんは 言葉でたずねるだけじゃ 何も答えてくれない…
あたしが
答えるに 値する実力を
証明しない 限りはね


…それじゃぁ
ここの端末は シェラ姉に 任せるわね！
頑張って！
あら いいの？ あなたひとりに なってしまった ようだけど
それを
姉さんは望んで いたんでしょう？




運命に導かれるように再び出逢ったエステルとヨシュア。同時に、世に混乱を求める《身喰らう蛇》の秘密計画が実体となって姿を表す。リベール王国全土を巻き込む混沌の行方は!?緊迫の第5巻!

著者：啄木鳥しんき
原作：日本ファルコム

定価：本体 900 円+税
ISBN 978-4-8021-3211-4



発行：フィールドワイ
発売：メディアパル
フィールドワイ公式HPはこちら→ www.field-y.co.jp
ファルコムブックス公式HPはこちら→ www.field-y.co.jp/falcombooks



# ▶ファルコムニュース◀

ファルコムファンに贈る最新ニュースをピックアップ！

## 「GraffArt CAFE in Ikebukuro」にてコラボカフェ開催！

「東京ザナドゥ」「創の軌跡」「イースⅧ」のキャラクターたちが、洋風・和風・チャイナ風をイメージしたグラフアートになって登場する、GraffArt CAFE『ファルコムフェア』の開催が決定しました。
















■**期間：**2021年10月16日(土)～2020年10月31日(日)

■**店舗：**GraffArt CAFE(池袋)

■**GraffArt CAFE公式Twitter：**https://twitter.com/GraffartC

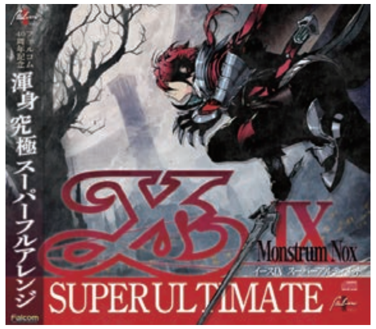
■**店舗ホームページ：**http://graffart-cafe.athree3.com/

※GraffArt CAFEでは感染防止対策として、下記の取り組みを行います。
- ご入店時にはマスクをご着用ください。
- 未着用のお客様は入店をお断りさせていただきます。
- 店内での飲食時を除き、ご歓談の際も極力マスクの着用にご協力ください。
- ご入店時のアルコール消毒にご協力をお願いいたします。



## ファルコム40周年記念
## 渾身・究極・スーパーフルアレンジ新作アルバム
## 『Ys Ⅸ SUPER ULTIMATE』発売中!!

「イース」シリーズ最新作「イースⅨ -Monstrum NOX-（モンストルム・ノクス）」より、劇中使用曲の中から特に人気の高い楽曲を厳選。全曲新アレンジ、新録音を行った渾身のフルアレンジアルバム『YsⅨ SUPER ULTIMATE（イースナイン スーパーアルティメット）』が絶賛発売中です。




### YsⅨ SUPER ULTIMATE（イースナイン スーパーアルティメット）

■**価格（税抜）：**
《CD盤》2,800円
《ダウンロード版》［アルバム］2,222円／［単曲］231円
《ハイレゾ音源版》［アルバム］2,777円／［単曲］324円

各音楽配信サイトでのダウンロード販売のほか、「mora」「music.jp」などハイレゾ配信サイトでのハイレゾ音源版販売、「Spotify」「Amazon music」「YouTube Music」など定額制音楽配信サービスでの楽曲配信もご利用ください。

**【YsⅨ SUPER ULTIMATE】収録曲**
1. INVITATION TO THE CRIMSON NIGHT
2. WELCOME TO CHAOS
3. NORSE WIND
4. CATCH ME IF YOU CAN
5. 蒼い花のワルツ
6. 嘆きのバルドゥーク
7. CROSSING A/A
8. DESERT AFTER TEARS
9. MONSTRUM SPECTRUM
10. GLESSING WAY!!
11. APRILIS

■**音楽配信サイト：**
《iTunes® Store》http://itunes.apple.com/jp/artist/id120174391
《Amazon デジタルミュージック》http://j.mp/VSjC6N
《mora》http://mora.jp/artist/299183/all
《music.jp》http://music-book.jp/music/Artist/

■**ハイレゾ版音源配信サイト：**
《mora/ハイレゾ配信ページ》http://mora.jp/artist/299183/h#discArea
《music.jpハイレゾ配信ページ》http://music-book.jp/music/Artist/141849/hiresoalbum
《e-onkyo music》http://www.e-onkyo.com/search/search.aspx?label=Falcom
《OTOTOY》https://ototoy.jp/_/default/a/124419
※ハイレゾ音源版は全曲96kHz／24bit（WAV＆flac）となります。
※「izunes® Store」では高音質・DRMフリーのiTunes Plusで世界111ヶ国、ファルコム楽曲5,108曲を配信。

■**定額制音楽配信サービス：**
《Spotify》https://www.spotify.com/jp/
《Amazon music》https://music.amazon.co.jp/artists/B00B4R35JQ/falcom-sound-team-jdk
《Apple Music》https://www.apple.com/jp/music/
《YouTube Music》https://music.youtube.com/channel/UCOOOdHr4emlkr02wjynGF3Q

■**「イースⅨ -Monstrum NOX-」公式サイト：**https://www.falcom.co.jp/ys9//
■**「ファルコム 音楽CD」情報ページ：**https://www.falcom.co.jp/music
■**ファルコム音楽フリー宣言：**https://www.falcom.co.jp/music-use

## 『ファルコム40周年記念缶バッジくじ』
## 全国450店舗以上で実施！

日本ファルコム創立40周年を記念して、最新作『英雄伝説 黎の軌跡（くろのきせき）』発売日の9月30日（木）より、“日本ファルコム40周年記念缶バッジくじ”イベントを開催。お近くのくじ取扱店で缶バッジくじを引いてアタリが出れば、日本ファルコム作品のイラストを用いたスペシャルグッズが手に入ります。

缶バッジの袋の中に、「あたり」の紙が入っていたら該当する下記あたり景品が1つもらえます。
最後のくじを引いた人には、ラスト賞の特大サイズの40周年イラストファブリック（布）ポスターをプレゼント！




※店舗により発売時期が異なる場合があります
※商品がなくなり次第終了となります

■ **缶バッジくじ特設サイト：**
https://dengekionline.com/feature/falcom_kanbadge/

# 9月の新／衣装替えキャラクターをチェック！



## 旅服・ロイド

元クロスベル警察《特務支援課》のリーダーで、クロスベル解放の立役者・ロイドが『閃の軌跡IV』の旅服姿で登場！　登場当初はまだまだ若さを見せていたロイドも今や立派な英雄だ

## 赤ずきん・フィー

童話をモチーフとした衣装替えシリーズから久しぶりに新衣装が登場。赤ずきんとなったフィーだが、ずきんを被っていないのが彼女らしい。狼を退治するどころか、手なづけているあたり、流石のひと言

# THE LEGEND OF HEROES 暁の軌跡

アカツキノキセキ

毎月魅力的な新キャラクターや衣装替えキャラクターが大注目の『英雄伝説 暁の軌跡』。
９月はメインストーリーの終章第３弾が実装！　いよいよ物語は核心へ迫っていく!?

『英雄伝説 暁の軌跡』公式ホームページ
http://akatuki.ujj.co.jp/
公式ツイッター
https://twitter.com/akatsuki_ujj

## メインストーリー終章第３弾「公宮最後の日／前篇」を実装！

《戦争卿》の正体……それは予想だにしない意外な人物だった。
かつての“彼”が何を思い描き、《戦争卿》となったのか。
追い求めた巨大な理想はやがて、“彼”自身と世界そのものを飲み込まんとしていた――。













※画像は開発中のものです。　※上記のイベントは状況により内容の変更を行う場合があります。

「こうなったら、ますます女王様に会わなくちゃね！」
エステルの言葉にヨシュアが頷いた。
宿泊部屋で休んでいるというジンと別れ、エステルとヨシュアは約束どおりヒルダ夫人の元へ向かっている。方法は不明だが、陛下に面会する段取りをつけてくれているはずだ。
自然と足が早くなる。
廊下を抜けて玄関の大ホールへ出た。
「おや、君たちは……」
「あ……！」
「リシャール大佐……」

階段から現れたリシャール大佐はエステルたちを見つけると近づいてきた。まさかこのタイミングで出会うとは！　エステルは鼓動が早まるのを感じる。これからエステルたちがしようとしていうことを大佐に悟られるわけにはいかなかった。

大佐の隣には、軍服姿の女性が付き従っていた。大佐の腹心であるカノーネ大尉だ。

リシャール大佐は笑みを浮かべながら近寄ってくると思いもよらない言葉をかけてくる。

「フフ……、エステル君とヨシュア君か。こうして面と向かって話すのは久しぶりではないかな？」

「え……！」

エステルの驚きをヨシュアが代弁する。

「最後に言葉を交わしたのはダルモア市長逮捕の後でしたね。でも、僕たちのことを覚えているとは思いませんでした」

「交わした言葉は少なかったが君たちは非常に印象的だったからね。気になって調べてみたら驚いたよ。まさか、カシウスさんのお子さんたちだったとはね」

「そ、そのことも知ってたんだ……」

「はは、伊達に情報部を名乗っているつもりはないよ」

リシャール大佐は、ふっと遠い目をした。

「カシウスさんには彼が軍に居た時にお世話になった。それこそ、言葉では言い表せないほどね……」

懐かしむような表情にエステルは言葉を失った。遠くへ行った大切な誰かに思いを馳せるのは、エステルもよく知った感情だ。今まで大佐に対して抱いていた印象を覆されてしまう。

もしかしたら、リシャール大佐はただの悪人ではないのかも……。思わずそう考えてしまうほどに。

リシャール大佐は柔らかく目を細める。

「カシウスさんが軍を辞める時、私は必死に引き留めたものだが……。どうやらその選択は彼にとっては正解だったらしい。君たちが傍にいたのなら奥さんを亡くされた哀しみからきっと立ち直れただろうからね」

「リシャール大佐……」

「さて、あまり公爵閣下を待たせるわけにはいかない。私はこれで失礼させてもらうよ」

「あ……。はい」

「君たちは一番知りたかったことを教えてくれた。……これで未練は無くなったよ」

「え？」

「それはどういう……」

エステルとヨシュアの疑問に答えることなく、リシャール大佐はカノーネ大尉を伴って城の奥へと去っていった。

† † †

星のまたたく夜空の下、城の屋上にある女王宮へと三つの人影が近づいてゆく。
入り口を守る二人の特務兵が気づいて声をかけた。
「これはヒルダ夫人……」
「こんな遅い時間に女王陛下に御用ですか？」
人影の先頭――ヒルダ夫人は特務兵に鋭い視線を送る。
「陛下に頼まれていた紅茶と食器類をお持ちしたのです。このような事態になって陛下も何かと不自由なさっていらっしゃるようですわね」
「これは手厳しい……」
「おや……見たことのない顔ですが、そちらの侍女さんたちは？」
ヒルダ夫人の後ろには、栗色の髪と黒髪の二人の侍女が付き従っていた。
「公爵閣下の命令で補充した新米の侍女見習いです。今日、城に上がったばかりです」
「ほう……」
「ふーむ。さすがに可憐ですなぁ。おや？　なんとなく、どこかで見たような……」
夜闇のなかで二人の侍女の顔が強張る。思わず呑み込んでしまった唾の音が見張りの男たちに聞こえたかどうか……。
ヒルダ夫人がさっと男たちの視線を遮った。
「年頃の娘を、そんな風にジロジロ見るとは何事ですか。もしや、良からぬことを考えているのではないでしょうね？」



ぎくりと身体を強張らせたのは今度は兵士たちのほうだ。兵士たちにとって、侍女二人が――とりわけ黒髪の少女のほうが、たおやかな美少女に見えていたのは間違いなかったので。
「何かあったら、公爵閣下や大佐殿に抗議させてもらいますよ？」
「と、とんでもない！」
「王国軍の精鋭たる我々がそのような事は……」
「ならばよいのです。ところで、いいかげん、通していただけないでしょうか？」
「こ、これは失礼しました！」
「どうぞ、お通りください！」
ヒルダ夫人と二人の侍女は警備をしている特務兵たちの間をすり抜ける。
無事に女王宮に入ったところで、栗色の髪の侍女――エステルは安堵の息をついた。
（危なかったぁ！）
上手くいってよかった。夫人の機転に感謝である。それにしても……。
ヒルダ夫人の用意した女王宮への進入方法は、エステルとヨシュアを侍女に扮させることだったのだ。二人の侍女の片方はエステルであり、となると必然的にもう片方はヨシュアだった。
「……なにさ、エステル」
エステルはメイド服と鬘（ウィッグ）で女装した傍らのヨシュアをまじまじと見た。
「舞台でお姫さまを演じたときもそうだったけど、やっぱり似合ってるなぁって。ほんと、あたしよりも女の子っぽいっていうか……うん……あれ？　あたしよりって……あれ、あれ？」

「自分で言って落ち込むのやめてくれるかな」
「ううう」
「ほらほら、顔をあげて」
「着きましたよ」

豪奢な扉の前でヒルダ夫人が立ち止まった。

ノックする。

「陛下、失礼します。先ほどお話ししたエステル殿とヨシュア殿をお連れしました」
「……ご苦労さまでした。どうぞ、入って頂いて」

中から女性の声がした。この声が女王陛下だろうか。意外と若々しい声だった。でも確か女王陛下の御歳って……。

エステルは心臓がドキドキしてきた。これからリベールの女王と会うのだ。

「私はここで待たせて頂きます。さあ、おふたりはどうぞ中へ」
「は、はい……！」
「失礼します……」

扉が開かれる。

「あ……」

部屋の大きな窓からは星空を映したヴァレリア湖が見えた。

窓硝子の前に女性が一人、静かに佇んでいる。窓の外を見ていた彼女は、ゆっくりと振り返った。



齢を重ねた証のしわが顔には刻まれているけれど、意思の強さを感じさせる瞳も、ピンと伸ばした背筋もエステルが思っていた以上に若々しい。顔だちをしげしげと眺めてしまっていた。どこかで見覚えのある顔だな、と思う。

この方がリベールの——。

老齢の女性はエステルを見て微笑んだ。

「ようこそいらっしゃいましたね。わたくしの名はアリシア・フォン・アウスレーゼ。リベール王国、第二十六代国王です」

† † †

紅茶の食器を載せたテーブルを挟んで座る。

すでにお茶の用意はできていて、カップからは白い湯気が立っていた。だが、エステルたちとしてはお茶を楽しむどころではない。お皿の上の焼き菓子だって気になるけれど、それよりもまず……。

エステルたちはアリシア女王にラッセル博士からの伝言を伝えた。

「そう……博士がそんなことを。周囲に存在する導力器（オーブメント）から、あらゆる導力を吸収してしまう《黒の導力器》。そんなものを大佐は手に入れているのですか」

女王の声には憂いが滲んでいた。

ヨシュアが問いかける。
「博士は、女王陛下ならばリシャール大佐がそれを何に使うか判るかもしれないと。何か、心当たりはありますか?」
長い沈黙のあとアリシア女王は再び口を開く。
「一つだけ、心当たりがあります。ですが、大佐がそれを知っているとは思えません。わたくしの思い過ごしであるといいのですが……」
「あの、その心当たりっていうのは?」
アリシア女王はエステルとヨシュアを見て、頷いた。
「……あなたたちになら、お話ししても構わないでしょうね。数年ほど前、この王都の地下に巨大な導力反応が検出されたのです。その調査にあたってくれたのが中央工房のラッセル博士でした」
「巨大な導力反応……」
「王都の地下ということは地下水路の近辺でしょうか?」
ヴァレリア湖の周りに造られた街の地下には地下水路が存在することが多い。水路には魔獣が出没することがあり、しばしば遊撃士たちには討伐命令が出る。だからエステルたちも水路の存在は知っていたのだ。
エステルたちの故郷の街ロレントにも地下水路があった。そういえば、エステルとヨシュアの最初の任務も、水路に隠された宝物を回収してくることだった。
ただ、この街の地下に出没する魔獣たちは、他の街に比べてより強く、その理由は長く不明とな



っていた……。
「いいえ、水路よりもさらに深い地下から検出されたそうです。博士は、いまだ機能を失っていない古代文明の遺物が埋まっているのではないかと仰っていました」
「水路のさらに下に、ですか」
ヨシュアが言った。
「古代文明の遺物って?」
エステルの問いにヨシュアが答える。
「導力革命が起こる前にも導力器は存在したんだ。ただ、誰がどうやって作ったのか判っていないし、今となっては用途も判然としない。遺物っていうのは、そういった古代の導力器のことさ」
「古代の導力器……それって……」
「うん。《アーティファクト》だ。たいていは《四輪の塔》の屋上にあった装置みたいに機能が死んでしまっているけど……まれに、ダルモア市長の家宝のように生きている物もあるみたいだ」
「はい。ただ、もし生きているのだとしたら、調べたくとも、迂闊に近寄ることは危険だと博士は仰いました」
「そんなものが王都の地下に。しかも、近寄るだけでも危険だなんて……。あ、待って！　それじゃあ、大佐があの《黒の導力器》を狙ったのは……」
エステルの頭のなかにある答えが閃いた。
あらゆる導力を吸収し停止させる《アーティファクト》なんて、なんのために必要なのかと不思

議だったのだ。だが――。
ヨシュアがアリシア女王をまっすぐに見つめながら言う。
「《黒の導力器》が、地下に埋まっている遺物の機能を一時停止させるために使われる。その可能性があるということですね？」
「ええ。遺物に近寄るためには、その必要がある、と思います。ですが……その遺物がどんなものでなんのために埋められたものかは、はっきりしていないのです。ラッセル博士の調査自体も非公式で行われたものですし、大佐がどこでその存在を知ったのか、わたくしには不思議でなりません」
「そうですか……」
ヨシュアは考えこむ仕草をした。
「なにか思い当たることがあるの？」
「いや、けど……たしかに不思議だ。どうやって大佐はそのことを知ったんだろう……」
「そりゃあ……、えっと、その、情報部だから、とか？」
我ながら単純すぎる、とはエステルも思ったが、今ここで考えていてもどうせ答えの出ないことではある。ヨシュアも同じように考えたようだ。話を切り替える。
「それと、遺物の機能を停止させることで、大佐は何をしようとしているんだろう。ただ近寄って調べるだけとは思えない」
「となると、大佐は、地下の《アーティファクト》について何か知ってるってことよね……」
いったいリシャール大佐の目的は何なのか。その《アーティファクト》の正体が判らないのでは彼の目的の全容は見えてこない。
「いずれにせよ、良くない事が起こる可能性がありそうだね」
「はぁ。ロクな事を考えていないわね。みんなに迷惑がかかるんだったら、まさしく遊撃士の出番だわ！　なんとかして大佐を阻止しないと！」
エステルは胸の前で力強く拳を握った。
ふふ、とアリシア女王が笑う。
「さすがはカシウス殿のお子さんたちね」
「えっ」
アリシア女王の口から父の名を聞いて、間の抜けた声が出た。
ヨシュアが訊ねる。
「陛下も父と面識がおありだったんですか？」
「亡くなった息子の友人でしたし、王国を救った英雄ですからね。軍を辞めて遊撃士になってからも依頼を通じてお世話になりました」
「そ、そうだったんだ」
「それは知りませんでした……」
「ふふ、彼の性格を考えれば知らないのも無理はありませんね。ひょっとして、十年前の戦争で彼がどのように活躍したのか。そのこともご存じないのかしら？」
「は、はい。詳しいことはあんまり……」

話してくれなかった理由も今ならなんとなく察することができる。けれどやっぱり寂しさも感じてしまう。だって自分の父親のことなのだ。

「ならば、これはわたくしの役目なのかもしれませんね……。エステルさん、ヨシュア殿。少々、年寄りの昔話に付き合っていただけませんか？」

「あ……。はい、もちろん！」

「拝聴させていただきます」

身を乗り出したエステルに、アリシア女王は語ってくれた。

彼女の知る父のことを。

十年前の春のことです……。

エレボニア帝国の南部で、ある痛ましい事件が起こりました。いまだ原因が判っていないため事件についての説明は省かせてもらいますが……。その事件をきっかけに帝国はリベールに宣戦布告をしたのです。後に《百日戦役》と呼ばれる不幸な日々の始まりでした。

帝国軍は、宣戦布告と同時に大兵力をもってハーケン門を突破。リベールは、王都などの幾つかの地域を除いて瞬く間に全土を占領されてしまいました。侵攻してきた兵力は王国軍のおよそ三倍。友好国であるカルバードからの援軍も間に合わず……。最後の砦であった王都にまで敵軍は押し寄せてきており、降伏も時間の問題かと思われました。

しかし、開戦から二ヶ月後……。

誰もが予想しなかった形で、戦局が大きく変化したのです。

開発されたばかりの警備艇が各地方を結ぶ関所を奪回し、帝国軍の連絡網を断ち切りました。そして、レイストン要塞から王国軍の総兵力が水上艇で出撃し、各地方を次々と奪還していったのです。ツァイス……ルーアン……ボース……ロレント、各地を占領していた帝国軍の師団は補給を断たれ、各個撃破されました。

この一大反攻作戦を立案した人物こそ、カシウス・ブライト大佐──。

モルガン将軍の右腕でありリシャール大佐の上官だったあなたたちのお父様だったのです。その後、遊撃士協会と七耀教会の仲裁もあって、ようやく戦争は終結を迎えました。

しかしこの時、カシウス殿は大切なものを失っていたのです。

それはレナ・ブライトさん……。エステルさんのお母様でした。ロレントの街の時計塔は、反攻作戦によって追い詰められた帝国軍の師団の最後の悪あがきによって破壊されたのです。

あなたも知っているとおり……。作戦の指揮を執って前線に出ていたカシウス殿は、奥様の死すらも見届けることができませんでした……

† † †

訥々と女王の語った内容をエステルとヨシュアは黙って聞いていた。

女王は一つ大きく息を吐く。

「自分が立てた作戦が帝国を追い詰め、結果的に奥様を死なせてしまった。その自責の念から、カシウス殿は軍を辞めて遊撃士の道に入りました。残されたあなたの傍にいるために。そして今度こそ、自らの手で愛する人々を守れるように……」
エステルは口許を押さえ、肩を震わせた。視界は涙でぼやけている。
「そんな……。そんな事情だったなんて。バカよ、父さん。父さんのせいでお母さんが死んじゃったなんて、そんなことあるわけないのに……」
「エステル……」
そっとヨシュアの手がエステルの背中に回される。ゆっくりと背を撫でられ、エステルは目を瞑り、漏れそうになる嗚咽を堪えた。
「ええ、そうですとも。すべては、大切な民を守れなかったこの力なき女王の責任なのです。ごめんなさい、エステルさん。お母様を守ることができなくて。そのことをずっと謝りたいと思っていました」
「あ、謝る必要なんてありません……！」
まさか一国の女王陛下に頭を下げられるとは思っていなかった。いや、そんなことよりも、だ。背を丸め、うなだれる姿を見ていると、女王だからとかではなく、このひとにこんな風に自分を責めてほしくないという気持ちが湧いてくる。
「女王様は、戻ってきた平和をずっと守ってくださった。父さんたちは必死になってこの国を守ってくれた。お母さんは命がけであたしのことを守ってくれた。それで、それで充分だと思うんです」
「エステルさん……。ありがとう、優しい子ね。あなたに会うことが出来て本当によかった。今、心からそう思えます」
「女王様……」
「でも、だからこそ、あなたには危険なことをして欲しくありません。カシウス殿の留守中にあなたに万が一のことがあったら、今度はなんとお詫びしていいのか……。だからこれ以上、今回の事件に関わりを持って欲しくないのです」
「で、でもっ……！」
「ですが、女王陛下。父カシウスが取り戻し、陛下が守り続けてきた平和が今まさに揺らごうとしています」
ヨシュアはエステルの背中から手を放すと、背筋を伸ばしてきっぱりと言った。
「ヨシュア殿……」
「《黒の導力器》の件もそうですが……。このまま大佐の狙いどおり、公爵閣下が国王となった場合、その平和はどうなるんでしょうか？　そのことを考えて頂きたいんです」
デュナン公爵が国王になり、背後にいるリシャール大佐の傀儡となったら。
このリベール王国にはどんな変化が訪れるのか……。
「望まぬ未来がやってくる。その可能性は高い、と思います」
「あ、あの、女王様……」
心配してくれる気持ちはありがたい。けれど……。王国を巡る旅の果てに、エステルはゆっくり

と学んだのだ。

「あたしたち、遊撃士になって、父さんの代理で仕事をしました。それから、空賊事件に関わって手紙が届いて、変な小包を開けて、そのまま各地を旅してきて……」

　エステルの瞼の奥にはそれぞれの街の風景がしっかりと焼きついている。

　徒歩での旅は大変だったけれど、大地をしっかりと踏みしめ歩いてこなければ知ることができなかったことも、また多い。同じ国のなかにありながらも暮らしぶりの異なる街々。そこに生きる人々の様々な姿を見てきた。ひとりひとりに固有の人生があり、みな、抱える想いは異なりながらもそれぞれが懸命に生きているのだ。

　生まれた街で過ごしていただけでは気づかなかったことだった。

「まるで、父さんに背中を押されて、ここまで来たような気がするんです。あたしも守りたいって思いました。平和に暮らせる幸せな毎日を。今まで知り合った、あたしの大好きな人たちを。女王様や、お母さんたちみたいに、あたしは、あたしなりの方法で守りたいんです！」

　もしかしたら好きでなくとも、だ。守れるものならばみんな守りたい。エステルはそう思うのだ。だって、最初はいけすかない奴だと思ってても、後で印象が変わることなんていくらでもあるのだもの。あの、ツンツン頭の先輩遊撃士とか……。

　この大地の上に生きている人々の一人一人と直に触れ合ってきたエステルの抱いた想いだった。

「エステルさん……。本当に、あの子の言うとおりだったわね」

「えっ？」



　あの子って、誰だろう。そうエステルが問う間もなく、アリシア女王は口を開いていた。

「わたくしも覚悟を決めます。エステルさんたちを通じて、遊撃士協会に、一つ、依頼させてもらおうと思います」

「女王様……！」

「陛下……。なんなりと仰ってください」

「依頼内容は、情報部によって囚われている方々の救出です。これは、わたくしの孫娘であるクローディアも含みます」

　アリシア女王の言葉にエステルとヨシュアも頷いた。

「そっか、やっぱりお姫様もどこかに捕まってるんですね」

「今回の情報部によるクーデターは、わたくしが彼女を次期国王として推そうとした事から始まったのです」

「クローディア殿下を、次期国王に、ですか」

「はい。孫である、ということ以上に、彼女にはリベールの国王として必要なものを持っているように思えたのです」

「リベールの国王として……」

「クローディアはまだ若く、デュナン公爵のほうが国王に相応しい――そう諭してくる者もいたのですが……」

「えーっ！」

あの公爵に国王が務まるとはとても思えない。エステルにさえそれは判る。もちろん、将来に渡っても公爵が成長しないとは断言できないけれども。
「それに、二代続けての女王による統治が結果的に国を弱くしてしまう、そう考える人物が現れたとしても不思議はなかったのです。他国では未だ男王による治世が続いていますから」
「なるほど……それがリシャール大佐ですか」
女王陛下がふたたび頷いた。
「わたくしが迂闊だったのです。気づいて、予想しておくべきだった。その間にも大佐は着々と準備を進めていたというのに……。公爵を陰から操り、リベールを、周辺の大国に劣らぬ強大な軍事国家にするために……」
「……ようやく事件の全貌が見えてきました」
ヨシュアが言った。
「ねえ、ヨシュア。強大な軍事国家にするって、具体的にはどうするの？」
「色々考えられるよ。税率を上げて軍事費の割合を増大したり、大量破壊を目的とした導力兵器を開発したり、大規模な徴兵制を採用したり、リベールでは認められていない猟兵団との契約を合法化したり……」
それでは、まるで諸国と戦うことを前提にした政策ではないか……。
「軍事国家にするというのはそういうことなんだ……。ただ、軍を持つだけなら、そうは呼ばれない。今までだってリベールに国軍はあったんだから」



「まさに同じようなことを大佐はわたくしに要求しました。純粋な愛国心からくる発言だと思えたのですが……。わたくしは、どうしてもそれが正しいとは思えなかったのです。国を守っているのは軍事力だけではありません。他国と協調していく外交努力もそうですし……。技術交流や、経済交流を通じて大陸の諸国全体を豊かにすることだって国を守ることに繋がるはずです。なのに、それらすべてを蔑ろにしてまで……とは」
「まさに陛下のおっしゃるとおりだと思います」
「うんうん！　お互いが信じ合わなくちゃ！」
エステルもアリシア女王の考え方には同意できた。なにより、母を亡くしたような忌まわしい戦いが続く世の中には戻りたくない。
戻したくない。
「ですが、大佐はその考えを女々しい理想論と断じました。そして、囚えたクローディアをエルベ離宮に閉じ込め、あの子の安全と引き換えにわたくしの退位を要求したのです」
アリシア女王の瞳には、女王としての責任と肉親としての情に挟まれた葛藤が浮かんでいた。
女王として、大佐の要求は受け入れられない……。
しかし、孫娘を見捨てることもできない……。
大佐の要求に屈しそうになる心を、彼女は今まで一人で支えてきたのだ。
エステルはエルベ周遊道を軍の兵士たちが見回っていた理由にようやく思い至る。兵士たちは離宮に閉じ込めた人質たちが逃亡しないかを見張っていたのだ。

離宮に人質がいる限り、アリシア女王は動くことができない。
エステルは奥歯を噛み締めた。
こんなこと——あっていいはずがない。家族を人質に取るだなんて。
「エステルさん、ヨシュア殿、お願いします。離宮に囚われている人たちを救出してください」
そう言って女王はエステルたちに頭を下げた。
エステルの胸の内に炎が灯る。
「女王様……。どうか安心してください！」
「依頼の旨、しかと承りました。必ずや、姫殿下を含めた囚われの方々を救出いたします」
「ありがとう……。エステルさん、ヨシュア殿。これで、大佐の脅しにも最後まで屈さずにすみそうです」
苦悩に顔を歪ませても、彼女は最後まで涙は見せなかった。
アリシア・フォン・アウスレーゼはリベール王国の女王なのだ。



# 月刊 FALCOM MAGAZINE Vol.128


| | |
|---|---|
| 発行人 | 田中一寿 |
| 発行協力 | 日本ファルコム株式会社 |
| 編集 | 小渕智幸<br>河野崇 |
| デザイン・DTP | 株式会社 ACQUA |
| 表紙ロゴデザイン | 荻窪裕司（デザインクロッパー） |
| 発行 | 株式会社フィールドワイ<br>〒101-0062<br>東京都千代田区神田駿河台3-1-9　日光ビル3F<br>TEL 03-5282-2211（代表）<br>http://www.field-y.co.jp/ |